



セチュラの風だより



2020年 1月 増刊号冬

セチュラ的环境状況について学ぼう！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

増刊号では、**セチュラ環境の実態**を紹介します。ペルーは、日本とは季節が逆のため真夏です。現在、生徒達は、夏休みです。期間は、クリスマスの始まる1週間前から、3月1週目まで休みです。つまり、約3か月学校(授業)が休みです。長期休暇の補習授業はなく、宿題も少ないので、勉強時間が少ないのが特徴です。

セチュラ環境問題って？

町を流れる川にあふれるごみ



セチュラは、砂漠や海、水辺にはマングローブが群生し、フラミンゴ等の野鳥の飛来地がある自然豊かな街ですが、ゴミの投棄や水質汚染が深刻な問題です。

町のごみをみんなが放っているわけではありません。学校では生徒達が環境美化活動をしたり学校菜園で植物を育てたりしています。また、郡役所でも、ゴミの調査を実施し、環境イベント等の啓発活動も実施しています。

最終処分場



学校菜園見学



スペイン語ってどんな言語？！

スペイン語は、スペインや中南米にある20以上の国で、約4億2000万人が公用語として使用しています。9か月活動して言語の印象は、話すスピードが早く陽気な言語で、発音はほぼローマ字読みで、動詞が時制や主語により変化する点です。

ペルー人は英語を話せない人が多いので、彼らと生活し働くためにスペイン語の取得が必須です。また私は、**多言語対応出来る職員になる事**が目標のため、日々スペイン語のオンライン授業を活用して勉強しています。

2020年の東京オリンピックでスペイン語圏の多くの人々が日本を訪れるので、今後簡単なスペイン語表現も紹介していきたいです。皆さんもぜひオリンピックの会場で、簡単な挨拶を実践し、彼らを「おもてなし」してあげてくださいね！